

特集Ⅰ 平成30年度 担い手支援担当者(TAC) パワーアップ福島大会開催

12月12日(水)、JA福島ビルで「平成30年度 担い手支援担当者(TAC) パワーアップ福島大会」を開催し、県内JA常勤役員やTAC担当者約150名が参加しました。今回で第3回目となる本大会は、JAグループ自己改革、並びにJA事業計画の重点事項である「地域農業の振興」と「農業所得増大」に向けて、担い手経営体への支援活動のさらなるレベルアップを目指すという目的のもと開催されました。

JA全農福島猪股孝二県本部長からは、「対象とすべき担い手を明確にしてい、定期的な担い手訪問を継続し、面談のなかで出された課題・要望などを整理しながらJA



JA 福島さくら 影山清明 担当

内での部門間連携をはかり、担い手への総合的な対応・提案を基本に取り組み、JAグループへの信頼はより強固なものになる。」と挨拶がありました。



(株)庄内こめ工房 齋藤一志 氏

午前の部の事例発表では、平成30年11月に横浜で開催された「全国TACパワーアップ大会」に福島から参加した8名のTACを代表して、JA福島さくら 影山清明職員が自身の担い手支援活動の紹介をしました。影山担当は事業承継や法人化支援などに取り組み、今年度からは法人・担い手意見交換会を開催しています。意見交換ができる場の提供が重要であること、また法人・担い手による新たな遊休農地活用として大豆などの栽培により、合計22haの遊休農地

解消につながった活動結果を報告いただきました。

午後の部の基調講演では、(株)庄内こめ工房の齋藤一志代表から「地域担い手がJAグループに期待すること」という演題で、ご講演をいただきました。

「地域の担い手がJAに対して求めていることは、購買品を安く供給することだけではなく、しっかりと収穫量を増やす取り組みであり、具体的には土壌分析による施肥設計やドローンを使用した追肥提案などである。」との説明があり、参加したTACは熱心に質問を行っていました。

最後にJAふくしま未来 福島地区 北福島営農センター朝倉大智担当から決意表明があり、「営農指導の強化、再生産価格を確実にする販売対策、経営を健全化する経営分析と支援など、農家組合員の要望に確実に応えていくことが、JA自己改革に繋がります。震災により失ったブランドの再興と農業基

盤の再構築に繋がるため、より一層の訪問活動と課題解決に取り組みたい。」と力強いメッセージをいただきました。

JAグループ福島の担い手支援活動は、まだまだ課題が多く、業務は幅広いものとなっておりますが、今後もさらなる活動のパワーアップを目指して取り組んで参ります。



県内のTACが一堂に会しました。

特集Ⅱ 平成29年産 県域共計対象米穀(出荷米)の 県域共同計算に係る精算について

JA全農福島は、各生産者より出荷いただきました平成29年産出荷米について、平成30年10月末に販売を完了しました。(所有権移転分を含む。)

販売見通しに伴う共同計算の精算につきましては、毎年実施している精算時期に合わせて見直しを策定の上、共同計算に係る監査、県本部運営委員会の審議を経て、各JAに精算しております。

平成29年産出荷米の販売に係るJA全農福島での県域共同計算の経費は、下記の表のとおりになりましたのでご報告いたします。上限見通し単価1,530円に対して1,517.08円となり、上限見通し内に収めることができました。

平成30年産米以降についても、1円でも高い販売代金の確保と経費削減に努めてまいります。

平成29年産 県域共計対象米穀(出荷米) 共計経費一覧

<共計経費単価>

(単価:円(税込)/60kg)

項目		算出根拠	共計対象米穀 共計経費単価	上限見通し単価 (参考)	上限見通し単価との差	備考
			I	II	I-II	
経費	流通・保管等に係る経費	①=a~f	1,229.48	1,263.00	-33.52	
	概算金金利(非課税)	a	51.06	50.00	1.06	概算金借入金金利
	保管料・入出庫料	b	588.76	555.00	33.76	JA保管料及び集約保管先の保管料、入出庫料
	保険料・補償料	c	—	—	0.00	
	運賃	d	396.76	457.00	-60.24	販売に伴う輸送料金
	安全・安心等検査費用	e	1.64	1.00	0.64	穀検査地検定料等
	集約保管等経費	f	191.26	200.00	-8.74	集約に要した運賃
	事故処理経費	②	—	10.00	-10.00	
	手数料	③	151.20	152.00	-0.80	全農手数料
	生産・集荷・販売等に係る経費	④=g+h	127.64	100.00	27.64	
	JAへの支出経費	g	—	—	0.00	ふくしまの米販売促進に要した宣伝・広告費等
	広告宣伝経費等	h	127.64	100.00	27.64	
その他	需給調整経費	⑤	—	—	0.00	
	県産米推進協議会等経費	⑥	3.16	4.00	-0.84	県産米推進協議会への負担金
	監査委員会費用	⑦	0.66	1.00	-0.34	共計監査に伴う調査費等
	⑧=i~k		4.94	—	4.94	
	コメ価格センター運営費	i	—	—	0.00	
	米穀システム開発負担費	j	—	—	0.00	
	損害賠償協議会留保金	k	4.94	—	4.94	原発被害対象米穀への損害請求留保金
合計		⑨=①~⑧	1,517.08	1,530.00	-12.92	

(注意1) 上記には、JAでの手数料を含んでおりません。

(注意2) ラウンドの関係で、合計値と内訳が合致しない場合があります。

今後とも、共計経費の削減をすすめ、1円でも多く農家手取り確保につながるよう、努力してまいります。